

# 第16回 北九州市地域公共交通会議資料

平成28年7月11日

北九州市建築都市局

都市交通政策課

# 第1路線(岩屋・かんぼの宿北九州～蛭住団地～大鳥居)の見直しについて

## 協議事項

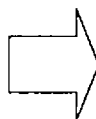
### 1 乗合バス運賃の見直しについて

#### ○運賃

[旧]

- ・初乗り 350円(6区相当)  
[1区]
- ・2区 400円(8区相当)

※ 既存路線と重複する区間  
「かんぼの宿北九州～新屋敷北口」  
は既存路線運賃を適用



[新]

- ・初乗り 260円(3区相当)
- 以降、1区間ずつ既存路線と同様の  
運賃表に沿って増額

※ 「かんぼの宿北九州～新屋敷  
北口」間を運行する既存路線も  
特定路線とする

※ 通常路線から特定路線(第1路線「岩屋・かんぼの宿北九州～蛭住団地～大鳥居」)区間内に連続して乗車する際の運賃は、特定路線に入った時点で通常路線の運賃区間に2区分を加算し、その後通常路線と同様の運賃表に沿って1区間ずつ増額する。

#### ○定期券等の取り扱い

☆運賃改定実施日前に発売した定期乗車券は通用期間まで継続して利用可能とし、運賃改定による減額分(9月1日改定以降の通用期間分)については、定期購入者に差額を返金する。

☆通用開始日が運賃改定実施日以降の定期乗車券については、運賃改定日の1ヶ月前より、改定を予定している額を適用して発売する。

### 2 運行形態の見直しについて

#### ○運行形態

地域内のみを運行する形態とし、地域外へはすべて「大鳥居」で乗り継ぎ  
〔「脇田経由で二鳥駅まで」及び「高須南二丁目経由で向田営業所まで」〕  
平日往復2便・土休日往復1便延伸し、乗換えなしの直行便とする。

○運行ダイヤ 別紙のとおり

### 3 地域内小学校への通学支援便について

#### ○土曜日等における通学支援便の対応

今年度、土曜日等に授業がある9日間について、地域内の江川小学校と協議のうえ臨時便を運行する。 ※運行日及びダイヤ・・・別紙のとおり

## 第2路線(岩屋・脇田～畠田)の見直しについて

### 協議事項

#### 1 乗合バス運賃の見直しについて

○運賃	[旧]		[新]
初乗り	190円 [1区]	⇒	260円 [3区相当]

※ 通常路線から特定路線(第2路線「かんぼの宿北九州・脇田～畠田」)区間内に連続して乗車する際の運賃は、特定路線に入った時点で通常路線の運賃区間に2区分を加算し、その後通常路線と同様の運賃表に沿って1区間ずつ増額する。

#### 2 運行形態の見直しについて

##### ○運行形態

☆直通で折尾駅や二島駅まで運行

⇒ 「二島駅」まで直通運行、「折尾方面」は「第一二島」で乗り継ぎ

☆地域内のグリーンパーク北口ゲート路線(1.9km)を廃止

※休日のグリーンパーク行きについては、折尾駅からの出発便を現在申請中

##### ○運行本数

	[旧]		[新]
平日	25便	⇒	20便
土休日	23便		12便

※平日(折尾駅行6・二島駅行19)

土休日(折尾駅行7・二島駅行16)

※すべて二島駅行

##### ○運行ダイヤ 別紙のとおり

#### 3 地域内小学校への通学支援便について

##### ○土曜日における通学支援便の対応

今年度、土曜日等に授業がある9日間について、地域内の花房小学校と協議のうえ臨時便を運行する。 ※運行日及びダイヤ・・・別紙のとおり

#### 4 フリー降車制について

○フリー降車区間 「脇田⇄かんぼの宿北九州」区間(4.3km)のみ実施予定

## 第3路線(脇田・脇ノ浦～小石)の見直しについて

### 協議事項

#### 1 乗合バス運賃の見直しについて

○運賃	[旧]		[新]
初乗り	190円 [1区]	⇒	260円 [3区相当]

※ 通常路線から特定路線(第3路線「脇田・脇ノ浦～向洋中学校前」)区間内に連続して乗車する際の運賃は、特定路線に入った時点で通常路線の運賃区間に2区分を加算し、その後通常路線と同様の運賃表に沿って1区間ずつ増額する。

#### 2 運行形態の見直しについて

##### ○運行形態

☆直通で若松渡場や戸畑駅まで運行

⇒ 「若松渡場」または「産業医科大若松病院」まで直通運行、  
「戸畑方面」へは「栄盛川」等で乗り継ぎ

☆地域内のグリーンパーク北口ゲート路線(1.9km)を廃止

※休日のグリーンパーク行きについては、折尾駅からの出発便を現在申請中

##### ○運行本数

[旧]		[新]
平日 22便	⇒	平日 20便
土休日 22便		土休日 12便

※平日(戸畑駅行15・若松渡場行7) ※平日(若松渡場行16・若松病院行4)  
土休日(戸畑駅行15・若松渡場行7) 土休日(若松渡場行12)

##### ○運行ダイヤ 別紙のとおり

#### 3 地域内小学校への通学支援便について

##### ○土曜日における通学支援便の対応

今年度、土曜日等に授業がある5日間について、地域内の小石小学校と協議のうえ臨時便を運行する。 ※運行日及びダイヤ・・・別紙のとおり

# 若松北西部地域におけるバス路線見直しについて

## 1 若松北西部地域におけるバス路線見直しの背景

- 若松北西部地域は、広大な地域に集落が点在している上に、バス利用者が少なく輸送効率が非常に悪いため、平成 25 年度時点での交通局における乗合バス事業全体の赤字額の 3 分の 1 (7,500 万円) が発生していた。  
(※ 民間バス事業者であれば、既に路線を廃止している可能性が大きい)
- 交通局では、当該地域のバス路線を、今まで他の路線の黒字により補填して維持を図ってきた。
- しかしながら少子・高齢化の進展等により、全市的にバス利用者数が減少しており、現状のままでは当該地域のバス路線の維持が困難になりつつある。
- 地域の生活の足として、当該地域のバス路線を維持するためには、運行形態等の見直しを行う必要がある。

## 2 これまでの取組

平成 26 年 6 月

- 第 1 路線「岩屋・かんぼの宿北九州～蟹住団地～大鳥居」の見直し実施
  - ・ 便数削減 約 64%減  
[平日 47 便→20 便、土曜 40 便→12 便 休日 36 便→12 便]
  - ・ 運賃値上げ 初乗り 190 円 → 350 円 (約 84%増)  
通学定期(1 ヶ月:岩屋⇄江川小学校前)  
4,000 円 → 6,730 円 (約 68%増)
  - ・ 運行形態の見直し  
地域内のみを運行する形態とし、地域外へは大鳥居を乗継バス停として折尾・二島各方面へ乗継ぎ

<参 考>

- 第 2 路線「岩屋・脇田～畠田」の減便
  - ・ 便数削減 約 32%減  
[平日 39 便→25 便、土曜 29 便→23 便 休日 26 便→23 便]
- 第 3 路線「脇田・脇ノ浦～小石」の減便
  - ・ 便数削減 約 28%減  
[平日 32 便→22 便、土曜 27 便→22 便 休日 26 便→22 便]

平成 26 年 12 月

- 第 1 路線の見直し実施(2 回目)
  - ・ 小学校低学年児童の下校時間帯 15 時台のバス運行開始
  - ・ 一部区間のフリー降車の実施

### 3 これまでの取組による収支改善

#### ○ 収支状況

	[見直し前] H25	[見直し] H26	[赤字の改善] (単位:万円) 差
第1路線「岩屋～難田～大鳥居」	△2,750	△1,260	1,490
第2路線「岩屋・脇田～畠田」	△2,550	△1,730	820
第3路線「脇田・脇ノ浦～小石」	△2,170	△1,730	440
合 計	△7,470	△4,720	2,750



**効果額 赤字額減少 2,750万円**

### 4 今回の見直しの概要

○時 期 平成28年9月実施予定

#### ○内 容

- 第1路線「岩屋・かんぼの宿北九州～猿住団地～大鳥居」
- ・運賃 初乗り(1区) 350円 → 260円 (約26%減)
  - ・高須、二島方面への直行便を設定
  - ・通学支援便の運行
- 第2路線「岩屋・脇田～畠田」及び 第3路線「脇田・脇ノ浦～小石」
- ・運賃 初乗り(1区) 190円 → 260円 (約37%増)
  - ・便数削減 既に実施している第1路線と同様  
平日20便 土休日12便  
「岩屋・脇田～畠田」 (約27%減)  
「脇田・脇ノ浦～小石」 (約19%減)
  - ・グリーンパーク路線の廃止
  - ・通学支援便の運行
  - ・フリー降車の実施予定 (第2路線の一部区間)

### 5 今回の見直しの考え方

#### ○ 運 賃

- ・平成26年6月に実施した第1路線の見直しに伴う収支状況等の検証を行い、3路線全体で最も効果的・効率的な運行ができる方法を検討した。
- ・そこで、初乗りを190円(1区)から260円(3区相当)とすることとし、3路線の運賃を統一するため第1路線については、初乗り350円を他の第2・第3路線と同様に260円と設定した。

○ 運行便数

- ・ 利用者状況を踏まえ、第2・第3路線ともに土休日を中心に削減することで先行の第1路線の便数に統一し、平日20便、土休日12便とする。

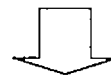
○ 運行形態

- ・ 第1路線では、高須及び二島地区への買い物・通院の利便性を図るため、それぞれの地区へ平日往復2便、土休日往復1便を延伸し、乗換えなしの直行便とする。
- ・ 第2路線では、利便性を考慮のうえ、二島駅行、第3路線については若松渡場、若松病院行とする。
- ・ 第2・第3路線内におけるグリーンパーク路線を廃止する。  
 ※ 利用が見込める土休日については折尾駅からの新規路線を現在、認可申請中。
- ・ 第2路線の脇田⇄かんぼの宿北九州間(4.3km)についてフリー降車制とすることで利用者の便宜を図る。
- ・ 地域内の小学校から年に数回の土曜日等の学校登校日について臨時便運行の要望があり、対応することとしたい。

6 今回の見直しによる収支予測

	H26	今回見直し	差
第1路線「岩屋・鬮岡～大鳥居」	△1,260	△1,320	△ 60
第2路線「岩屋・脇田～畠田」	△1,730	△ 460	1,270
第3路線「脇田・脇ノ浦～小石」	△1,730	△ 970	760
合 計	△4,720	△2,750	1,970

(単位:万円)



効果額 赤字額減少 1,970万円

7 今回の見直しの取組状況

平成26年7月～

- バス利用実態調査の実施(7月・9月・10月・3月)・・・第1路線

平成27年7月～

- 市営バスの経営改善の取組について自治会・学校関係者へ説明
- 地元自治会を通じて利用者アンケート調査(利用頻度・利用時間等)を実施

平成 28 年 1 月～

- 地元自治会、学校関係者へ見直し案の説明
- 地元住民等との同意
  - ・ 自治会及び学校関係者に対し、ダイヤ改正案を提示するとともに、市営バス路線を存続させるためには、運行形態の見直し・運行本数の減便・運賃改定を行う必要があると説明し、同意いただいた。

## 8 市営バス路線としての運行を継続することのメリット

### ア 地域にとって

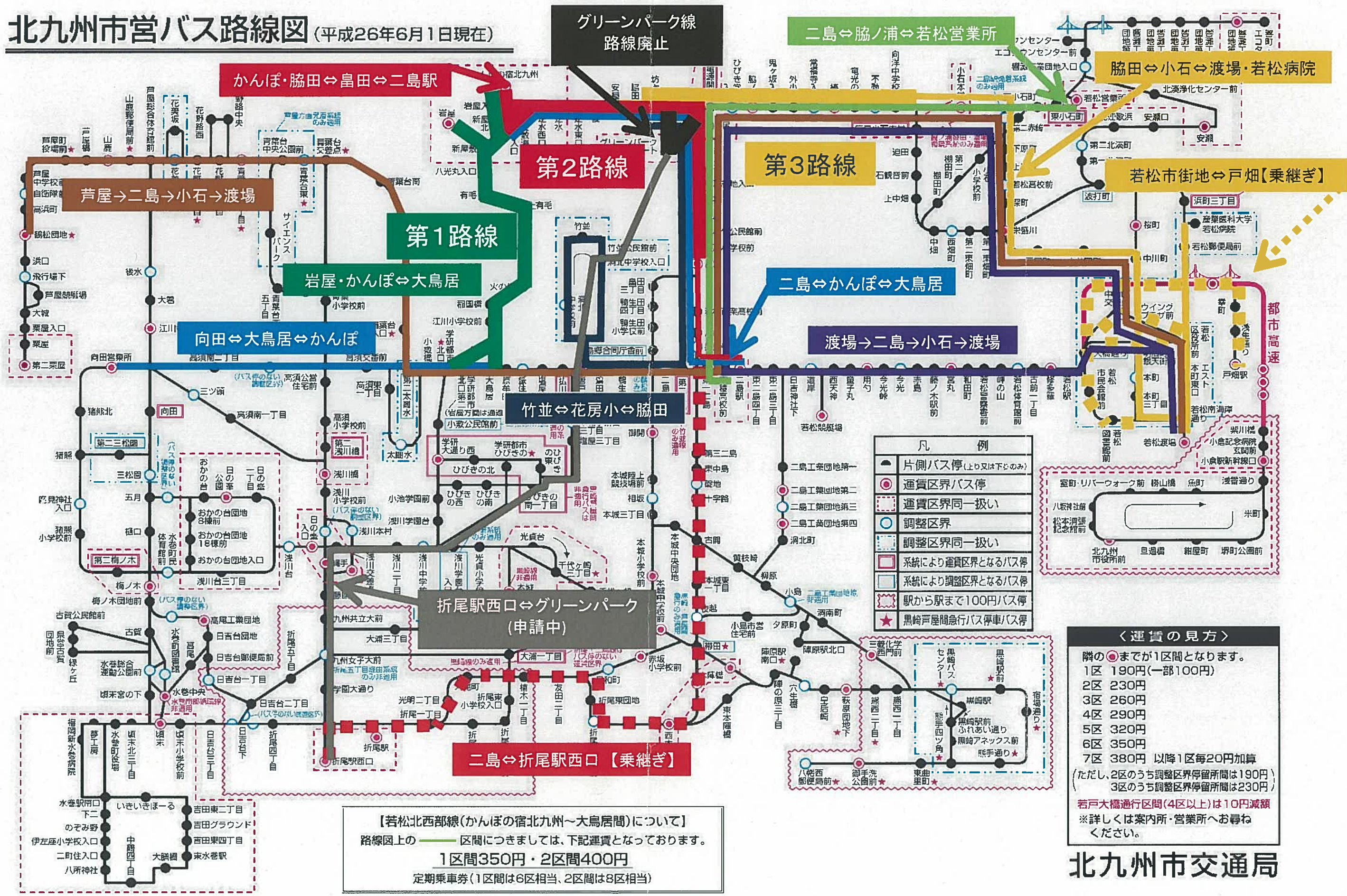
- ・ 市営バスによる生活路線の確保（自治会代表者の要望）
- ・ 従来どおり各種乗車券（ふれあい定期、福祉優待乗車証、一日乗車券〈700 円〉等）の利用が可能
- ・ 乗継割引（90 円）適用

### イ 交通局にとって

- ・ 公営バス事業者としての使命（地元の信頼に応えることができる）
- ・ 現在の赤字額をゼロにすることはできないが、経費を削減できる。



# 北九州市営バス路線図 (平成26年6月1日現在)



北九州市交通局



# 第1路線(岩屋・かんぼの宿～蛭住～大鳥居)の見直し内容

実施予定日 平成28年9月1日

## [運賃の見直し]

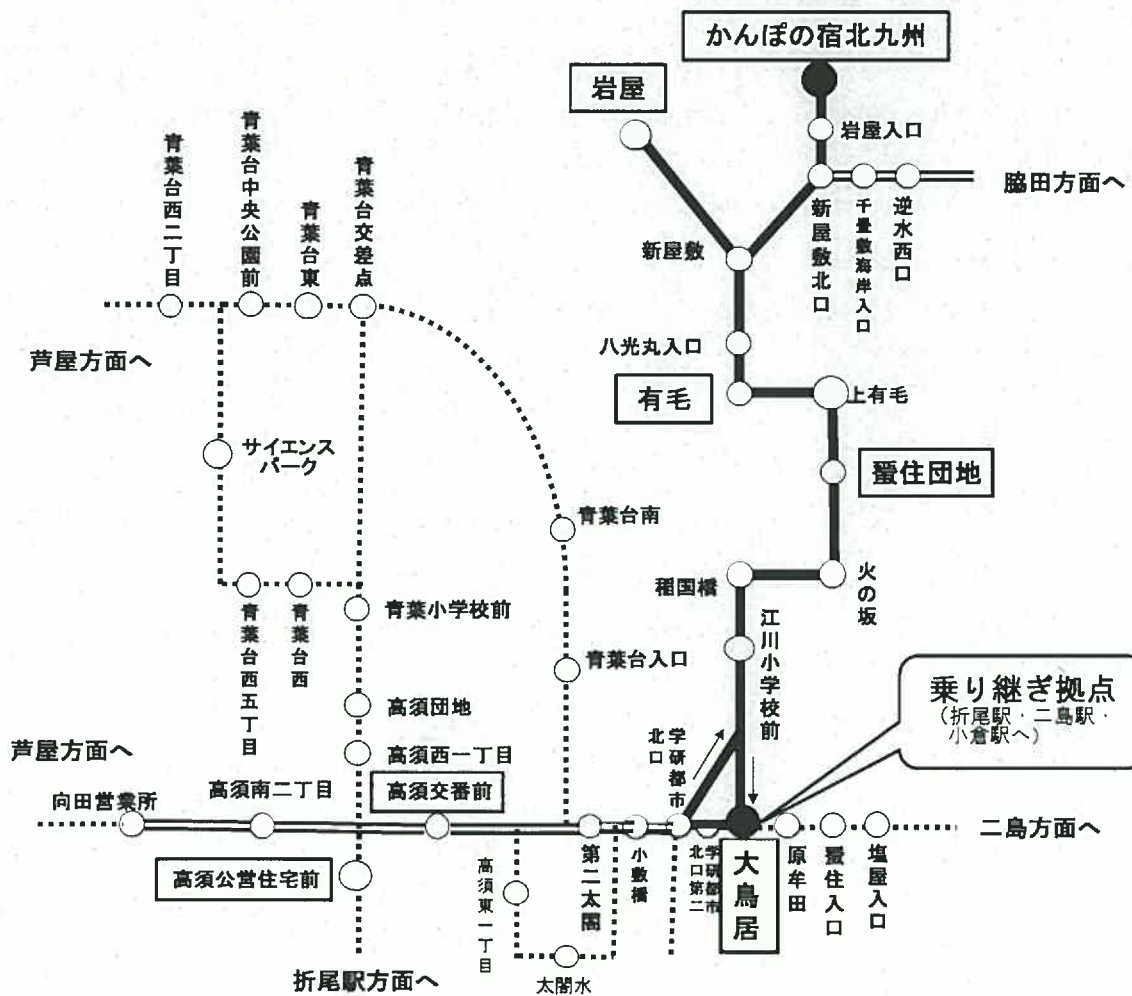
	旧	新
初乗り(1区)	350円	260円
2区	400円	290円

## 岩屋方面 ⇄ 大鳥居

(運行本数は変更ありません)

【平日】	
かんぼ⇒大鳥居	9便
大鳥居⇒かんぼ	11便
【土曜日】	6往復
【日祝日】	6往復

「かんぼ⇄火の坂」フリー降車実施



## [一部路線の延長]

上図の ≡ 部分

- 二島駅行(大鳥居⇄かんぼの宿⇄脇田⇄二島)直行便【新設】
  - 平日：往復 2便
  - 土休日：往復 1便
- 向田営業所行(かんぼの宿⇄大鳥居⇄高須サンリブ方面)直行便【新設】
  - 平日：往復 2便
  - 土休日：往復 1便

## 第2路線(岩屋・脇田～畠田)の見直し内容

実施予定日 平成28年9月1日

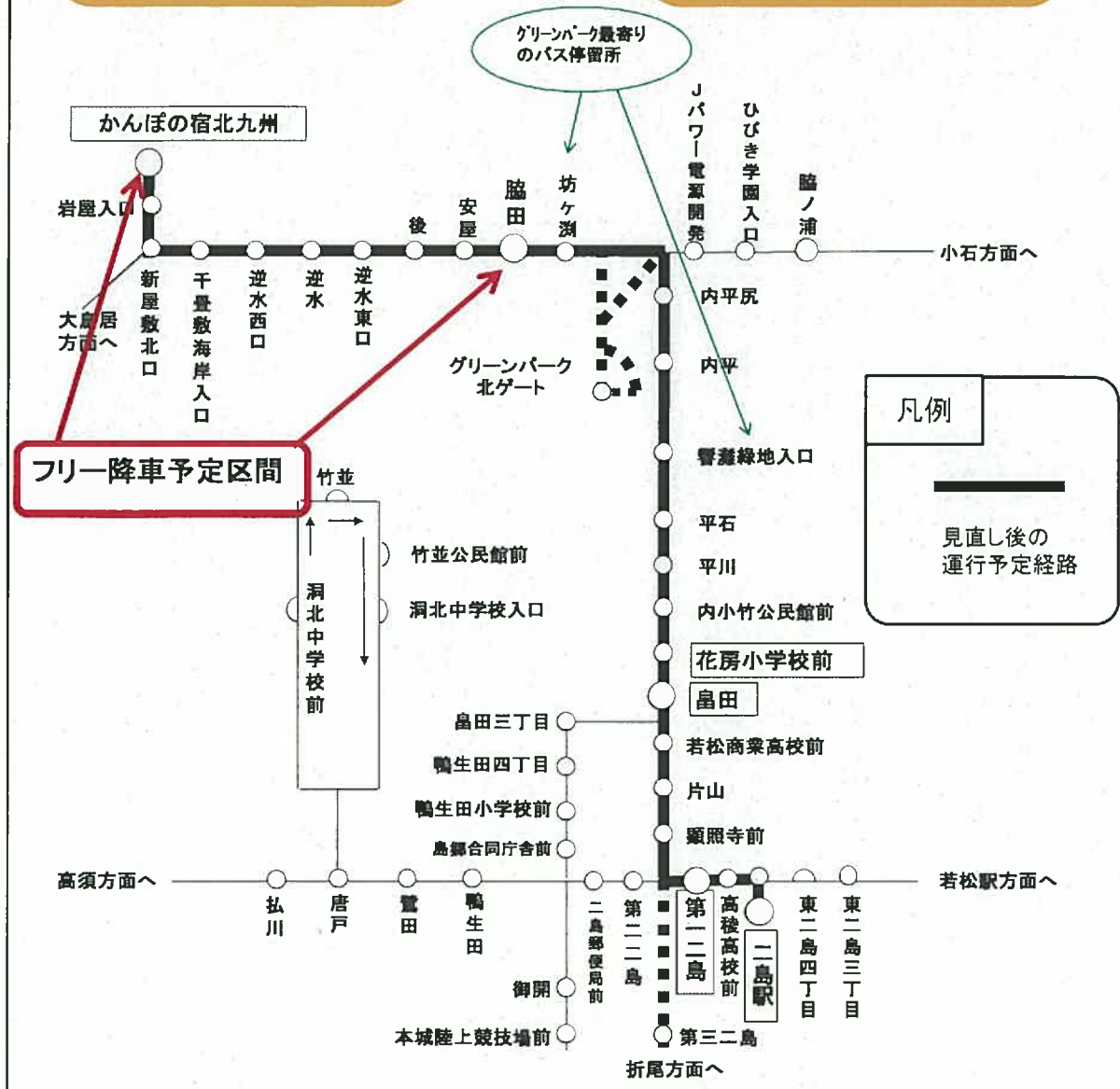
### 〔運賃の見直し〕

初乗り(1区)

旧 190円 → 新 260円

### 〔運行本数の見直し〕

	旧	新
【平日】	25便	20便
【土・休日】	23便	12便



### 〔行き先等の見直し〕

■「かんぽの宿発 二島経由 折尾行」便

行き先変更



「二島駅行」

■「二島～脇田間のグリーンパーク行」…廃止

※ 折尾方面へは「第一二島」からお乗換えとなります

# 第3路線(脇田・脇ノ浦～小石)の見直し内容

実施予定日 平成28年9月1日

## 〔 運賃の見直し 〕

初乗り(1区)

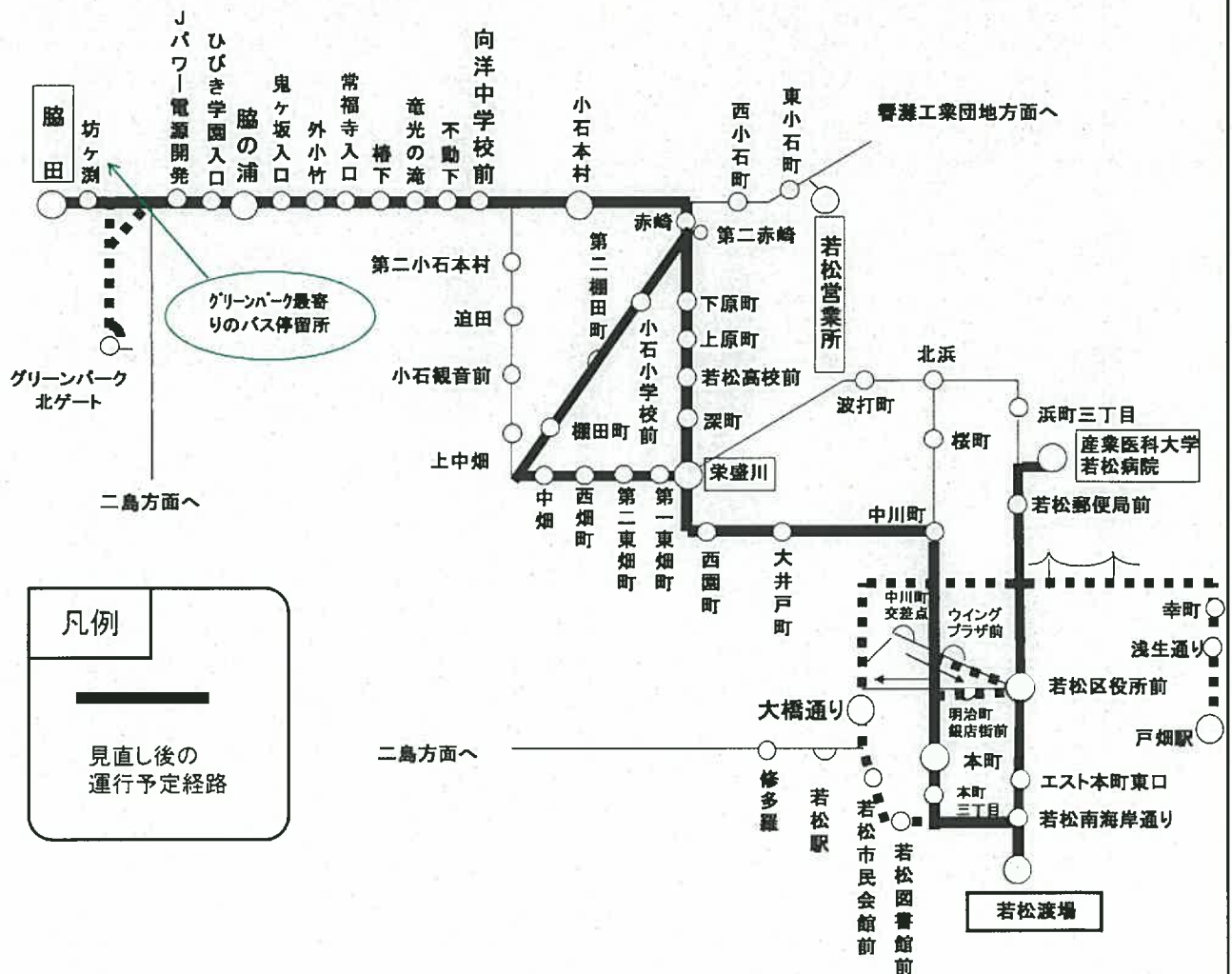
旧 190円 → 新 260円

## 〔 運行本数の見直し 〕

旧 新

【平日】 22便 → 20便

【土・休日】 22便 → 12便



### 凡例

見直し後の  
運行予定経路

## 〔 行き先等 の見直し 〕

■「脇田発 → 脇ノ浦経由 → 戸畑行」便

行き先変更

➡ 「若松渡場行」または  
「産業医科大若松病院行」

■「戸畑駅・中川町方面からのグリーンパーク系統」…廃止

※ 戸畑方面へのお乗換えは  
「栄盛川」が便利です